

〔自己資本の充実の状況について<レバレッジ比率に関する開示事項>〕

（レバレッジ比率の構成に関する事項）

「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

【連結ベース】

（単位：百万円、％）

国際様式 (表2) の該当番号	国際様式 (表1) の該当番号	項目	2021年3月期	2022年3月期
オン・バランス資産の額 (1)				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	7,144,764	6,991,113
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	7,187,434	7,084,936
1b	2	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—	—
1c	7	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	42,670	93,822
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)	45,956	54,059
3		オン・バランス資産の額 (イ)	7,098,807	6,937,054
デリバティブ取引等に関する額 (2)				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	13,057	29,088
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	31,683	38,562
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	38,595
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—	—
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	44,740	106,246
レポ取引等に関する額 (3)				
12		レポ取引等に関する資産の額	—	—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	63	2,285
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	63	2,285
オフ・バランス取引に関する額 (4)				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	434,422	441,659
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	309,552	309,848
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	124,869	131,810
連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (5)				
20		資本の額 (ホ)	687,454	666,862
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	7,268,480	7,177,396
22		連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ))	9.45	9.29
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (6)				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	7,268,480	7,177,396
		日本銀行に対する預け金の額	1,363,218	1,459,776
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ´)	8,631,698	8,637,172
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率((ホ)/(ヘ´))	7.96	7.72

(注)「いよぎん愛媛大学発ベンチャー応援ファンド投資事業有限責任組合」(以下、IEUF) および「いよエバークリーン事業承継応援ファンド2号投資事業有限責任組合」(以下、IEBF2)は、会計上、非連結の子会社ですが、自己資本比率告示第三条の規定に従い、規制上の連結対象には含まれております。そのため、「バーゼルⅢ第3の柱に基づく開示事項」における連結貸借対照表は、IEUF、IEBF2を含めて作成した規制上の連結対象に基づいた貸借対照表であり、会計上の公表貸借対照表とは相違します。

（前連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因（当該差異がある場合に限る。））

該当ありません。

【単体ベース】

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2) の該当番号	国際様式 (表1) の該当番号	項目	2021年3月期	2022年3月期
オン・バランス資産の額 (1)				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	7,100,898	6,959,017
1a	1	貸借対照表における総資産の額	7,143,569	7,052,840
1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	42,670	93,822
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)	37,853	44,709
3		オン・バランス資産の額 (イ)	7,063,045	6,914,307
デリバティブ取引等に関する額 (2)				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	13,057	29,089
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	31,684	38,563
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	38,595
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—	—
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	44,741	106,247
レボ取引等に関する額 (3)				
12		レボ取引等に関する資産の額	—	—
13		レボ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
14		レボ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	63	2,285
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レボ取引等に関する額 (ハ)	63	2,285
オフ・バランス取引に関する額 (4)				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	418,661	426,758
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	295,368	296,437
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	123,293	130,320
単体レバレッジ比率 (5)				
20		資本の額 (ホ)	658,348	643,800
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	7,231,143	7,153,161
22		単体レバレッジ比率(ホ)/(ヘ))	9.10	9.00
日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (6)				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	7,231,143	7,153,161
		日本銀行に対する預け金の額	1,363,218	1,459,776
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	8,594,361	8,612,937
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ'))	7.66	7.47

(前事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。))
該当ありません。